

# 財政収支の推移

計画期間における財政収支の実績をみると、支出においては、事業の効率化などにより計画対比で事業費を縮減した一方、収入においては、計画と同程度の給水収益を確保できたことから、安全・安定給水のために必要な事業を着実に実施するとともに、現行料金のもとで健全経営を維持することができました。

これにより、水道施設更新積立金は、一部の年度において積立額を増やすことができ、事業運営に必要な取り崩しを行ってもなお、計画を上回る残高を確保することができました。

また、企業債の借入を抑制したことにより、残高は大幅に減少しており、財務基盤の強化につながっています。

【図表47】財政収支の推移

単位 億円

	2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度(参考)		
	計画	決算	増減	計画	決算	増減	計画	決算	増減	計画	決算	増減	計画	予算	増減
収益的収入	454	451	-3	449	458	+9	455	456	+1	453	454	+1	453	458	+5
うち給水収益	407	404	-3	404	406	+2	411	407	-4	410	405	-5	410	411	+1
収益的支出	361	333	-28	358	336	-22	366	335	-31	368	349	-19	381	368	-13
うち人件費	39	36	-3	40	35	-5	40	35	-5	41	35	-6	41	37	-4
うち運営管理費	159	130	-29	160	142	-18	164	139	-25	167	158	-9	174	175	+1
うち企業債利息	24	23	-1	22	21	-1	20	18	-2	19	16	-3	18	14	-4
当年度純利益(税抜)	79	107	+28	73	108	+35	69	106	+37	64	92	+28	53	74	+21
資本的収入	95	64	-31	107	55	-52	99	77	-22	96	53	-43	81	57	-24
うち企業債	40	20	-20	40	10	-30	40	20	-20	40	15	-25	40	20	-20
資本的支出	322	295	-27	368	279	-89	293	292	-1	287	262	-25	268	260	-8
うち建設改良費	189	161	-28	230	192	-38	209	208	-1	209	182	-27	200	188	-12
うち企業債償還金	93	93	±0	87	88	+1	83	84	+1	78	80	+2	68	71	+3

累積資金残高	74	140	+66	12	140	+128	19	147	+128	23	146	+123	25	140	+115
--------	----	-----	-----	----	-----	------	----	-----	------	----	-----	------	----	-----	------

(参考)

企業債残高	946	916	-30	899	838	-61	856	774	-82	818	709	-109	790	658	-132
水道施設更新積立金残高	120	186	+66	80	186	+106	50	156	+106	20	141	+121	0	121	+121

※ 消費税込み(消費税率については以下のとおり)

- ・計画：平成28(2016)年度まで8%、平成29(2017)年度以降10%
- ・決算：平成30(2018)年度まで8%
- ・予算：令和元(2019)年9月まで8%、10月以降10%